

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 倉吉総合産業高等学校

重点項目	スポーツ・文化芸術活動重点校	提出日	平成31年4月11日
------	----------------	-----	------------

1 学校目標	
部活動の振興をとおして、本校の教育目標の柱である「誠実な心とたくましく生きる力」「自主・自律の態度」「思いやりと友情」を涵養し、生徒の個性の伸張や人間性の育成と学校の活性化を促進する。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動（運動部・文化部）への加入率と満足度を高める。 ・部活動のための備品・環境の整備を図る。 ・競技力向上対策事業（県体協）強化指定部の部員数の拡充及び部員相互の指導・連携を図る。 陸上競技(男女)・カヌー(男女)・自転車競技(男女)・レスリング(男)・ソフトボール(女) ・本校のマスコットキャラクター「そうピィ」の着ぐるみを製作し、各部の大会やイベントで活用し、本校部活動のPR活動を行う。 <p><数値目標> 生徒の部活動加入率 95%以上 学校生活に関するアンケート 生徒「部活動に積極的に取り組んでいる」 AB評価 85%以上 保護者「部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」 AB評価 95%以上 教職員「部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」 AB評価 90%以上</p> <p>部員数 陸上競技 30 カヌー25 自転車競技 20 レスリング 10 ソフトボール 15 中国大会への参加人数 延べ 270 人 全国大会への参加人数 延べ 100 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加入率は目標を達成できなかったが、保護者・教職員の満足度は高かった。 ・文化部備品（茶道・吹奏楽）及びバレーボール部備品の整備を行った。 ・自転車競技とソフトボールの部員数が増えた。中学生の部活体験には自転車競技・カヌーに参加者があり、部員が丁寧な指導を行った。 ・着ぐるみは業者選定などに苦勞し、実施できなかった。 <p><数値結果> 生徒の部活動加入率 93% 学校生活に関するアンケート 生徒「部活動に積極的に取り組んでいる」 AB評価 81% 保護者「部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」 AB評価 95% 教職員「部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」 AB評価 90%</p> <p>部員数 陸上競技 22 カヌー17 自転車競技 19 レスリング 8 ソフトボール 19 中国大会への参加人数 延べ 178 人 全国大会への参加人数 延べ 100 人</p>

3 実施事業

【高等学校課事業】

- ・文化部校外・合同練習会支援事業
- ・備品（郷土芸能備品・楽器等）整備事業

【独自事業】

- ・中学生の部活動体験事業

強化指定部のうち中学校にはない自転車競技、カヌー、レスリング部の部員数を増やすため、夏季休業中に中学生を対象とした部活動体験を行い、未体験の競技の楽しさを体験させ、競技の普及と競技者の開拓を図るとともに、部員生徒の指導力もあわせて促進する。指導は本校顧問・部員が行う。経費については、運営費から充当する。

- ・「そうピィ」着ぐるみの製作

運動・文化部の大会やイベントで着ぐるみを活用し、中学生やその保護者を含む校外の方々へ本校の部活動のPR活動を行う。経費については、運営費の執行状況を見ながら充当する。

4 総合所見（成果・評価）

中学生部活動体験事業には5人の参加があった。中学校へのPRが不十分であったため、少人数の参加ではあったが、参加者の意識・意欲は高く、中学校の先生方からも好評であった。今後も競技者開拓のために継続していきたい。

本校のマスコットキャラクター「そうピィ」の着ぐるみは次年度は何とか製作し、学校PR活動に活用したいと考えている。

中国大会参加者数は前年度256名から減ったが、いくつかのチーム競技が中国選抜、中国新人等への出場権を獲得できなかったことが原因であった。全国大会参加者数は前年度91名から増加し、特に昨夏の全国高校総体には50名以上の参加者があり、運動部活動は概ね盛況であった。

文化部も吹奏楽部の吹奏楽コンクール中国大会4年連続出場やビジネス研究部全国大会出場など着実に成果をあげている。

本校の学校目標を達成するためには部活動は重要な教育活動である。今後も重点校として、競技力だけでなく、人間性の育成と学校の活性化を目標に部活動に取り組んでいきたい。

※枚数任意